

質問者



八束 正 議員

Q 第3次総合計画の成果は

A 全体の約60%達成状況です

問 平成13年度から平成22年までの10年間の第3次総合計画について各種施策を計画し推進してきた中の成果は。

答 町長

315の主要な施策を推進してきました。全体の約60%の達成状況です。計画全体の中で達成率の高いのは、高齢者・障害者の福祉・保健医療活動などの施策で適切なサービスの提供・事業運営ができ、住民福祉の向上が図れたと考えます。一方達成状況の低い施策では産業経済の振興や雇用対策・観光の振興・県道・北黒田海岸の整備。さらに、既成市街地や町営住宅の整備等、莫大な費用あるいは関係者の理解が必要な事業が達成できないまま残っています。これからも引き続き推進をし第4次総合計画の中でも事業達成に努めていきます。

問 第4次総合計画について

- ① 平成22年度から平成31年までの10年間第4次計画を策定し推進していく中で特に重点を置いて取り組む施策は。
 - ② 基本構想・基本計画に基づいた実施計画で今後の具体的な事業計画は。また財源確保に向けた取り組みは。
 - ③ 今後課題・問題になる対策・施策は。
- A 農業振興の町独自施策
B 雇用の確保対策
C 水を将来的に守る施策
D 教育の町としての対策
E 少子高齢化対策

答 バランスよく実施します

町長

- ① 「水きらめく笑顔あふれるライフタウン松前」という将来像を設定し6分野の目標を定め優劣をつけることなくバランスよく実施していきます。
- ② 塩屋集会所の建設事業。
子供たちが行う自然観察事業・ビオトープの整備など20の事業を具体的に実施していきます。財源については、国や県の政策・制度を精査し補助金を活用して、できるだけ一般財源の持ち出しは抑えたいと考えています。



第3次総合計画 恵久美浄水場

- ③ 経営指導の強化・農地集積の促進・認定農業者を中心に大規模経営体の育成・集落営農の組織化など、農家の皆さんと意見交換をしながら振興策を進めます。
- B 南黒田工業団地への企業誘致、また県やハ

ローワーク等関係機関と十分連携をとり、情報の提供や相談・能力開発などの支援を行っていきます。

C 地下水の観測を継続して行っていきます。

また、今建設を行っている徳丸浄水場を予定どおり完成をさせ、水の供給の安定化を図っていきます。

D ハード面では、学校施設の耐震化を計画的に進めます。ソフト面では教育資源を生かして

た特色のある教育、また英語教育など、時代に合った内容の充実を図り、生きる力を重視した教育の推進をしていきます。

E 少子化については、保育や医療などの支援子供さんを産んで、安心して育てられる環境づくりを充実させます。高齢者の皆さんについては、元気で明るく、地域で生活できるように、さまざまな事業を実施していきます。



第4次総合計画 南黒田工業団地予定地

○その他質問
※新たな産業創出を